



雅楽道友会

GADO NO TOMOGAKI
IN MIYAGI
2022

雅道の友垣 宮城

国指定重要無形民俗文化財
林家舞楽を迎えての雅楽公演

雅楽道友会が主催する第二回「雅道の友垣」。
共演には、「雅楽」の伝承・普及を通じて
日本の古き良き文化を伝える、宮城県「宮城野雅楽会」。
客演に、凡そ二百年前に四天王寺の林家により
山形の山寺立石寺に伝えられ、
現在に至るまでシルクロードの面影をとどめると評される
重要無形民俗文化財、山形県「林家舞楽」を迎え、
舞楽「陵王」では三団体からなる大合奏が実現します。

【雅楽道友会】
+ 宮城野雅楽会
越天楽 ◎管絃
還城楽 ◎舞楽
青海波 ◎管絃舞楽
【林家舞楽】
陵王 ◎舞楽
納曽利 ◎舞楽
【雅楽道友会】
+ 宮城野雅楽会
+ 林家舞楽
陵王 ◎舞楽



2022.11/17 [木] 開場 17:00 名取市文化会館 大ホール
開演 17:30

出演◎雅楽道友会 共演◎宮城野雅楽会 客演◎林家舞楽

チケット料金・前売券=3,000円 当日券=4,000円 (税込・全席自由・オンライン視聴付) オンライン配信 (ライブ&オンデマンド)=1,200円 (税込)

主催◎特定非営利活動法人 雅楽道友会 音楽監督◎池邊五郎 (元宮内庁式部職楽部 首席楽長) プロデュース◎有限会社 蘭 企画◎雅楽道友会、MIURA NEW ROOM
後援◎宮城県教育委員会/山形県教育委員会/名取市教育委員会/河北町教育委員会/宮城県神社庁/山形県神社庁/宮城教育大学音楽科/河北新報社/仙台放送/東日本放送

チケット発売=2022年9月15日 [木] LIVE & オンデマンド配信決定!!

ライブ配信は、2022.11/17 [木] 17:30 スタート。オンデマンド配信は、公演終了後 2022.12/17 [土] までご覧いただけます。

お問い合わせ | 雅楽道友会 TEL.03-3783-2371 (平日9:00~17:00) Web をチェック! [ががくどうゆうかい](#) 検索



宮内庁を中心に現代に継承されている〈宮中舞楽〉と、千二百年前より山形県の一部地域で継承されてきた国の重要無形民俗文化財指定〈林家舞楽〉。この二つの舞楽の流れが初めて同じ舞台で交差し、舞楽「陵王」では〈林家舞楽〉が現代の〈雅楽〉の演奏に加わり他には類を見ない大合奏が実現します。

〔演奏曲〕

―管絃―越天楽

舞楽で最も知られている曲の一つ。その旋律の馴染み易さから、戦前にはオーケストラに編曲されヨーロッパでも好評を博した。

―舞楽―還城楽

舞を伴った雅楽の事を舞楽といひ、「見蛇楽(けんじやらく)」とも言われる。ある文明をもつていた民族が蛇を食する異文化に触れた時の驚きと高揚感をそのまま現代に伝える。

―管絃舞楽―青海波

源氏物語の一節、「紅紫賀巻」にて帝の前で頭中将と光源氏が「青海波」を舞うシーンはあるにも有名。当時の雅楽の格式の高さを今日まで伝えている。

―舞楽―陵王

舞楽の中で最も有名な曲が「陵王」。中国の凡そ一五〇〇年前の南朝動乱期、北齊という国に長孫(あやうきまろ)という王がいた。王は容姿が非常に美しいため戦に出ても味方の士気が上がらなかった。そこで、敵めしい面をつけて戦に臨んだ所、味方は大勝利をおさめた。この故事から作られた三団体による大合奏。

―林家舞楽―陵王・納曽利

凡そ一、二〇〇年前に四天王寺の衆人である林越前政照により山形県の山寺立石寺に伝えられ、未裔の林家が伝統を守りつづつ現代に伝える林家舞楽「陵王」「納曽利」を披露。「納曽利」は、曲の由来は不明だが、雌雄の龍が湖上で戯れる姿を現している。

プロデュース：有限会社 嵐
企画◎雅楽道友会、MIURA NEW ROOM
総監督・演出◎三浦直心 (MIURA NEW ROOM)
舞台監督◎菅原 満 (MIURA NEW ROOM)
音楽監督◎池邊五郎 (元宮内庁式部職楽部 首席奏長)
音響・照明◎総合舞台
映像配信◎加藤光男 (D-bridge)
司会進行◎高梨由美
協力◎株式会社 宮本卯之助商店



名取市文化会館 (大ホール)

〒981-1224 宮城県名取市増田字柳田520
TEL. 022-384-8900
http://bunka.natori.or.jp
アクセス
□仙台空港アクセス線「杜せきのした駅」より徒歩8分
□JR「名取駅」より徒歩17分
□名取市乗合バス「なとりん号」



チケット発売=2022年9月15日 [木]

【チケット購入特典】オンライン配信が無料でご視聴いただけます。*視聴方法はチケット裏面に記載

◎チケットの予約、購入

- 雅楽道友会 | 03-3783-2371 受付時間◎9:00~17:00 (平日)
- 宮城野雅楽会 | 090-4476-6199 館腰神社 受付時間◎9:00~17:00
- 林家舞楽 | 0237-72-2149 谷地八幡宮社務所 受付時間◎9:00~16:00

◎チケット、オンライン配信視聴チケット

Peatix | https://gadou-tomogaki-miyagi.peatix.com

*チケットを購入する際には〈Peatix〉の会員登録が必要です。
*ライブ配信は、2022年11月17日 [木] 17:30から終演まで。
*オンデマンド配信は、2022年11月17日 [木] 公演終了後から2022年12月17日 [土] まで、何度でもご覧いただけます。



AFF ARTS for the future! 本公演は、文化庁「ARTS for the future! 2」助成事業により上演いたします。新型コロナウイルス感染拡大防止対策へのご協力をお願いします。

社会情勢によりイベントを中止する場合がございますので、予めご了承ください。

「林家舞楽」とは



「林家舞楽」は、宮中舞楽・四天王寺舞楽・南都楽所舞楽と並ぶ重要無形民俗文化財に指定されている。平安中期以降の楽制改革の影響が少なく、よりシルクロードの面影を留めると評される。古記録には、貞観二年(八六〇)に僧門仁が羽州山寺立石寺を開山、その際門仁に伴った大坂市四天王寺の衆人、林越前守政照が四天王寺の舞楽を山寺に伝えたとある。その後、政照の子孫が室町時代に慈恩寺に、さらに江戸時代初期に谷地に移り住み、山寺・慈恩寺・谷地八幡宮の舞楽を司るに至る。神職・林家はこの千五百五十余年の間、門外不出、一子相伝の家憲を固く守り長子に秘法を伝承してきた。



【雅楽道友会】

昭和四十二年、雅楽の普及および技術向上を目的に内弟子制度を導入した民間で初めての雅楽を専門職とする集団として発足。令和三年、第一回「雅道の友in 福島」を主催し、東日本大震災にて壊滅的な打撃を受けた伝統芸能を継承されている集団への支援を目指し、福島県浪江町請戸の郷土芸能との共演を果たした。



【宮城野雅楽会】

平成九年、宮城県内の若手神職を中心に発足。宮城県を代表する雅楽団体として、古典芸能「雅楽」の啓蒙・普及に取り組む。県内外の神社での神事や冠婚葬祭での奏楽、さらに小中学校での総合学習など幅広く活動を続け、未曾有の被害をもたらした東日本大震災後は、被災地で鎮魂の雅楽演奏会を行っている。